

# 市議会だより

令和3年5月1日 No.66



～名峰 鳥海山の四季～より 「日向川畔に咲く ― ヤエザクラと鳥海山 ―」 白旗史朗 氏 撮影(裏表紙に解説)

## 3月定例会

**「新たな日常への転換を見据えた経済・社会の再生」「日本一女性が働きやすいまちの実現」「市民に優しいデジタル変革の推進」に重点を据えた令和3年度予算を可決**

ホームページはこちらから

酒田市議会



## 目次

3月定例会の概要、代表質疑、討論、委員会審査、人事案件、議会活動日誌	..... P2～P6
一般質問／17人が登壇	..... P7～P12
1月臨時会の概要、委員会審査、1月臨時会・3月定例会審議結果一覧、請願審査結果一覧	..... P13～P15
6月定例会の開催予定、傍聴案内	..... P16

令和3年2月24日から3月19日まで24日間の会期で開催されました。詳しい内容を知りたい方は、市ホームページから議会中継の録画をご覧ください。6月中旬に市役所本庁舎、総合支所、図書館、コミュニティセンターに備える会議録をご覧ください。

# 3月定例会

令和3年度一般会計・特別会計・事業会計予算をはじめ、酒田市公文書等の管理に関する条例の制定など市長提出議案48件のほか、請願3件、議員提出議案2件、その他5件を審議しました。議案は、各委員会の審査、議論を経て本会議で採決が行われた結果、すべて可決・承認・同意されました。請願は、1件は賛成多数により採択、2件は賛成少数により不採択となりました。

## 代表質疑

提案された議案に対する質疑で、3月2日に会派等から代表して5人が行いました。質疑と答弁の要旨は、次のとおりです。（発言順に掲載）

### 公成会

#### 日本一女性が働きやすいまちの実現

**議員** 令和3年度重点施策に、日本一女性が働きやすいまちの実現が掲げられており、女性活躍に対する活動を支援するとしている。女性が職場で個性と能力を十分に発揮できる社会や働きやすい環境を実現するため、企業における一般事業主行動計画の策定から、えるぼし認定を支援する奨励金制度を創設するとしており、制度内容を伺うとともにサンロクを活用したさまざまな支援体制についても伺う。

**市長** 本市が取り組んでいる制度として、女性活躍推

進法に基づく一般事業主行動計画の策定の促進があり、女性がその個性と能力を十分に発揮できる働きやすい環境づくりのため取り組んでいる。この計画策定、そして届出後に認定基準を満たした事業主は、厚生労働大臣の認定（えるぼし認定）を受け、女性が活躍を積極的に推進している企業であると全国的にPRすることができる。加えて、本市の事業所の大部分を占める一般事業主行動計画の策定が努力義務とな

**市長** 医師会や山形県・酒

業所が計画を策定した場合には、奨励金などを独自に交付する制度を創設するな

### 市民の会

#### コロナワクチン接種体制の確立と周知徹底の方針

業所が計画を策定した場合には、奨励金などを独自に交付する制度を創設するな

**議員** いよいよワクチン接種が始まる状況で、市民の皆様はさまざまな情報が錯綜する中で、不安と期待が大きくなっている。本市では集団接種と個別接種を併用して実施する基本方針が示され、具体的に関係箇所や医師会なども協議をしながら体制の準備が進められていると承知しているが、国からのワクチン供給が本市にどの程度入ってくるのか、いつ届くのか見えない状況では、接種体制や準備も確定できない。現在の準備状況と本市の正確なコロナワクチン接種に関する情報をどのよう周知徹底していくのか所見を伺う。

ど、働きやすい職場環境づくりへの事業主の取り組みを促していく。

田市病院機構からご協力をいただき、本市が設ける施設で土・日曜、祝日に実施する集団接種と、かかりつけ医の診療所での個別接種を組み合わせて市民の皆様から接種いただけるように準備を進めている。情報の周知の徹底では、ホームページ、あるいは広報、LINE公式アカウント、ツイッターといった媒体を駆使し、できるだけ迅速に正確な情報を周知する。コールセンターも3月1日に設置しており、県も副反応などに対するコールセンターを設置する。県とも連携し、市民の問い合わせに対応していきたい。

## ◆賛成討論

### 令和3年度一般会計予算 公成会

令和3年度の一般会計予算規模は、対前年度比で17億7000万円、3.1%マインスの557億3000万円、本市の過去2番目に大きい予算である。コロナ禍による歳入の減少と感染拡大予防対策や経済支援対策、景気刺激策を講じるための財源確保のため、より一層厳しい財政運営が求められる中でも、社会的な助けが必要な市民の皆様への支援や災害対応予算、子育てにも配慮した予算措置を行っている。コロナ禍により将来が見通せない状況ではあるが、限られた財源の中で、コロナ禍への手当てはもちろん、コロナ禍をきっかけとして、デジタル変革という新しい流れを推進している攻めの予算となっている。新型コロナウイルス感染症の収束を願い、コロナ禍以前の状態以上に、本市の暮らしの向上・にぎわいの創出に寄与するよう各事業に期待し、令和3年度酒田市一般会計予算に賛成する。

## 共産党 市議団

### 市民に優しいデジタル 変革の推進とは

**議員** デジタル化は、行政手続きの簡略化と同時に従来の相談しながら対面による窓口手続きが縮小されるものではないか。結果、高齢者や配慮が必要な方々などへの利便性が後退し、行政サービスが低下、届かなくなるのではないか。市長は、デジタル化により効率化された人員は、丁寧な対応が必要な部署に配置し、より丁寧な市民サービスの提供を充実させるとしている。

が、国の示す方向はさらなる人件費の削減ではないか。市長の目指すデジタル化推進の考えを伺う。

**市長** デジタル弱者と呼ばれる方々への対応は、効率化による余力を振り向け、これまで以上にきめ細やかな対応をするともに、使いやすい機器などによるサービスの提供を検討していきたい。マイナンバーカードの普及は今後デジタルによる行政サービス提供には



多様な人材を輩出している東北公益文科大学

欠くことができないものであると認識しており、デジタル化が行政サービスの後退につながることはないと考えている。国の方針に全面的に追随するつもりはなく、国よりも先を行く、逆に国の示された指針に従わ

ず、アナログ的なところが残ることもありうる。それが、酒田モデルという言葉で、全て言われたもの、指示どおりにやるということではないということをご理解いただきたい。

## 志友会

### 東北公益文科大学の 公立化

**議員** 東北公益文科大学を

の所見を伺う。

将来にわたり存続させるため、設置者である山形県と庄内2市3町が連携して、さらなる機能強化と早期の公立化に取り組むとしている。また、大学の経営が順調である今だからこそ、積極的に公立化を検討する必要があるとのことだが、本市の課題や事業を進めるため、特にコロナ禍の中で、国・県・市の関係は今以上に重要であり、県との連携が必要不可欠である。県と市の関係を心配する市民の声も多く聞こえるが、公立化については食い違わないように、改めてしっかりと向き合っている話合いが必要と考えるが、市長

**市長** 東北公益文科大学の公立化は、山形県が関わらなければ、庄内地域2市3町だけでは全く前に進まないものと考えている。当事者である東北公益文科大学を含め、関係機関がしっかりと向き合っている話合いを進めていく必要がある。県との関係についてはしっかりと意を用いて、今後の調整に臨んでいきたい。一方で、私は大学の副理事長、理事長の職務代理者も兼ねており、大学側と市の立場、両方の立場を担っている。責任ある立場として、県に対して主体的に関わっていききたい。

## ◆賛成討論

### 令和3年度一般会計予算

#### 志友会

令和3年度予算は、ウィズコロナ、アフターコロナ時代を見据え、地域再生に向けて、新型コロナウイルス感染症への対応と地域経済活性化の両立を図りながら、持続可能な地域社会の構築を目指すものとなっている。年度末市債残高見込みは、令和2年度末から17億3600万円減らし59億1億4500万円となり、厳しい財政状況の中で新たな投資事業に取り組むとはいえ、健全財政の維持をしっかりと意識した予算編成と評価する。しかし、基金の高は減っており、基金活用も限界にきていると感じられる。さらに国・県の補助制度を活用するためには、国・県との良好な連携関係が何より重要であり、今後の市政運営に当たり、この課題にしっかりと対処すべきと考える。市長が目指すまちづくりの信条を早期に実現するための基盤を築く新年度予算となることを期待し賛成する。

市政  
研究会  
持続可能な  
財政基盤の確立

**議員** 本市では令和3年度から5年間で計画期間とした中期財政計画を策定した。この計画を踏まえ、基金の取り崩し依存ではない、歳入水準に見合った歳出構造での転換を図るとしている。令和3年度をはじめ、令和7年度まで毎年差引額はマイナスとなっている。その要因をどう捉えているか。収支均衡への対応策は、歳入では基金の活用などが挙げられているが、具体的には、何の取り組みを見込んでいるのか。また、ふるさと納税獲得の攻めの取り組みの「攻め」の具体的な考えを伺う。



新たに開設したみなと保育園

**市長** 公債費は令和4年度にピークを迎える

と想定されること、公共施設などの維持管理に係る物件費、酒田地区広域行政組合や下水道事業への補助費などが高い水準で推移するため、財政収支の見通しは、令和3年度から

7年度までマイナスになると見込んでいる。令和3年度の予算編成では、財政調整基金など各繰入金を活用し収支の均衡を図っている。令和4年度以降は、基金、ふるさと納税、風力発電事業による売電収益の活用など、財源確保に努めながら財政運営に取り組んでいきたい。ふるさと納税では、季節感とふるさとを感じる返礼品の開発、寄付者の利便性向上、情報発信機能の強化を図り酒田ファンを増やしていきたい。

常任委員会

2月25日に総務・民生常任委員会を開催し、令和2年度関係議案7件を審査しました。

また、3月3日に各常任委員会、3月19日に民生常任委員会を開催し、令和3年度関係議案16件を審査しました。

総務常任委員会

酒田市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正など議案10件を審査しました。

審査の結果、議案はいずれも原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

民生常任委員会

酒田市国民健康保険税条例の一部改正など議案10件を審査しました。

審査の結果、議案はいずれも原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

建設経済常任委員会

酒田市企業立地促進条例の一部改正など議案3件を審査しました。

審査の結果、議案はいずれも原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

予算特別委員会

今定例会では、2月25日に専決事項の報告1件と令和2年度補正予算7件を、

3月4日から9日に令和3年度一般会計予算をはじめ6特別会計予算、2企業会計予算、3月19日に追加提案された令和2年度1件、令和3年度2件の補正予算を審査しました。

審査の結果、専決事項の報告は、専決を妥当と認め、全会一致で承認すべきもの、令和2年度補正予算は、いずれも原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

令和3年度予算は、後期高齢者医療事業特別会計に賛否両論があり、起立採決の結果、賛成多数で可決すべきもの、そのほかは原案

を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

また、追加提案された補正予算3件は、原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

主な質疑

◎3年度一般会計

総務部

徴収管理業務事業

**問** 新たなスマホ決済の導入(PayPay請求書払い)の詳細は。

**答** コンビニ収納用のバーコードをスマートフォンで読み込むことが可能ということで昨年5月からLINE Payを導入しているが、

経済対策でPayPayが普及したということもあり、業者との協議の結果、追加料金なく導入可能となったものである。

**他の項目**／基本研修事業、広報公聴活動推進事業、特別補納整理事業、防災対策強化事業

企画部  
デジタル変革事業

**問** 新しい時代の働き方改革として、職員に在宅のテレワークを月に1回行うよう検討してはどうか。

**答** 部課長には、テレワークを来年度末までに最低1回は行うこととしている。また、農林水産部では部長の判断で進めているところであり、全庁でも進めていきたい。

他の項目／大学まちづくり

推進事業、庄内空港振興事業、鉄道高速化・利用促進事業、駅周辺整備事業、花と緑のまちづくり事業、デマンドタクシー運行事業

「地域創生部」

女性活躍推進事業

**問** いよいよ本格的な取り組みが始まるものと見受けられるが、事業の内容は。

**答** 今年1月に立ち上げた日本一女性が働きやすいまちに賛同するリーダーの会の会員増を図り、会員には

社会保険労務士への相談や役に立つメールマガジンの配信など情報発信を行なっていく。リーダーの会を入口として、一般事業主行動計画の策定、そしてゆくゆく

くは厚生労働大臣認定（えるばし認定）に段階を踏んでいけるようにしていきたい。また、奨励金制度を創設し、100人以下の事業所で努力義務となっている一般事業主行動計画の策定、策定済みの事業所では女性管理職登用、1か月以上の男性の育児休業を行う事業所へ奨励金を交付していく。

**他の項目**／国際交流推進事業、北区・武蔵野市交流事業、青少年交流推進事業【新規】、生涯活躍のまち構想推進事業、酒田移住交流推進事業、男女共同参画推進事業、結婚推進支援事業、若年地元就職促進事業、人材確保支援事業、若者地元就職魅力発信事業【新規】、新型コロナウイルス感染症関連経済対策事業【新規】、産業振興まちづくり推進事業、商店街活動支援事業、交流観光推進事業、観光戦略・インバウンド推進事業、酒の酒田の酒まつり事業、鳥海国定公園等管理事業、鳥海山・飛鳥ジオパーク推進事業、未来投資促進事業

**【市民部】**  
安全・安心のまち酒田推進事業

**問** 昨年度事業と見比べたかぎりでは同じ内容のようだが、予算の増加要因は。

**答** 予算の増加理由は、駅前の地下道への防犯カメラを設置、駅周辺の駐輪場の整理をこれまで1名体制だったところを2名体制に増員したものである。これは、高校生の駅周辺の利用が増えることを想定してものである。また、運転免許の自主返納の支援に係る経費の増額も行なっている。

**他の項目**／市民協働・公益活動推進事業【新規】、ひらた賑わい創出事業、ごみ減量化推進事業、不法投棄防止対策推進事業、ごみ処理対策事業

**【健康福祉部】**

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業

**問** ワクチン接種の予約はどのように行なえばよいか。高齢者の代理で予約することは可能か。また、聴覚障がいのある方は手話奉仕員を介して行うことは可能か。

**答** 予約方法はコールセンターに電話いただくほか、予約専用のウェブサイトを開設するため、そこから24時間予約が可能である。

ワクチン接種はご本人の意思確認が必要だが、予約そのものを代わりに行うことはできる。予約のため手話奉仕員を派遣することは可能である。また接種会場への派遣も可能である。


**他の項目**／災害時要援護者避難支援事業、発達支援事業、敬老寿賀事業、やさしいまちづくり除雪援助事業、保育士等人材確保事業、少子化対策地域推進事業、つどいの広場事業、法人立保育所等施設整備事業、若年者検診事業、日本海総合病院酒田腸内健康スタディ支援事業【新規】

**【建設部】**

新築住宅総合支援事業

**問** 要件による上乗せがあるとのことだがその詳細は。

**答** 酒田産木材を使った場合1戸あたり基本30万円であるが、準防火地域は20万円加算、世帯要件として移住・新婚・子育て世帯のい



**議会活動日誌**

<p style="background-color: #f4a460; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"><b>1月</b></p> <p>14日 議会報編集委員会 総務常任委員勉強会</p> <p>18日 各派代表者会議</p> <p>19日 各常任委員協議会</p> <p>20日 議会運営委員会 議会報編集委員会</p> <p>25日 各派代表者会議</p> <p>26日 1月臨時会 本会議 総務常任委員会 予算特別委員会 議会運営委員会 民生常任委員勉強会 酒田市私学振興議員連盟 世話人会 本会議 議会運営委員会</p>	<p style="background-color: #f4a460; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"><b>2月</b></p> <p>8日 議会運営委員会</p> <p>9日 各派代表者会議</p> <p>10日 民生常任委員会 みなと保育園視察</p> <p>15日 各常任委員協議会 総務常任委員勉強会</p> <p>16日 全議員勉強会</p> <p>17日 議会運営委員会</p> <p>24日 3月定例会（～3/19） 本会議 議会改革推進特別委員会</p> <p>25日 総務・民生常任委員会 予算特別委員会 議会運営委員会 総務常任委員勉強会</p> <p>26日 本会議 議会報告会班代表者会議</p>	<p style="background-color: #f4a460; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"><b>3月</b></p> <p>2日 本会議 議会報告会班会議</p> <p>3日 各常任委員会</p>
<p style="background-color: #f4a460; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"><b>2月</b></p> <p>4日 総務常任委員協議会 予算特別委員会</p> <p>5日 各派代表者会議 予算特別委員会</p> <p>8日 予算特別委員会</p> <p>9日 各派代表者会議 予算特別委員会 議会運営委員会 議会報告会班代表者会議</p> <p>11日 本会議 各常任委員協議会 議会報編集委員会</p> <p>15日 本会議 議会運営委員会</p> <p>16日 議会改革推進特別委員会</p> <p>17日 本会議</p> <p>19日 本会議 総務常任委員協議会 総務常任委員勉強会 本会議</p> <p>民生常任委員会 予算特別委員会 議会運営委員会 本会議</p> <p>22日 議会改革推進特別委員会</p>		

ずれかに該当すると10万円加算して実施する。

他の項目／道路改良事業、市営住宅ストック改善事業、住宅リフォーム総合支援事業

「農林水産部」

スマート農業推進事業

問「もっけ田農学校」

Knowledge（農レッジ）

」の内容は。

答 基礎研修や実際農家に入っ

受付期間にスマート農業研修センター指導員と面談し、

どんなことをやりたいのか聞き取りを行い、入学希望者の希望に沿ったカリキュラムを行なっていきたい。

他の項目／さかたでアグリ支援事業、都市農村交流事業、さかた農産物販路・消費拡大事業、豚熱ワクチン

接種緊急支援事業【新規】、多面的機能支払事業、野生鳥獣農作物被害対策事業、

酒田型土づくり特別対策事業【新規】、森林経営管理推進事業、森林病害虫等対策事業、アメリカシロヒトリ

駆除対策事業、いか釣り漁業支援事業、地魚ブランド

ド力向上・安定供給推進事業、飛鳥漁業担い手確保環境整備事業

「教育委員会」

GIGAスクール推進事業

問 コロナウイルス、インフルエンザのまん延や災害

などで休校になった場合、リモートでの学習もできるか。また家庭でWi-Fiの対応がない場合はどうか。

答 リモートでの学習もできる仕様となっている。また、Wi-Fi環境のない家庭にはルーターを貸し出しして対応する予定である。

他の項目／教育支援員配置事業、学校ICT環境整備事業、スポーツ活動等支援事業、キャリア教育推進事業、学習バス・スクールバス管理事業、土門拳記念館管理事業、スクールプログラム実施事業【新規】、文化財保護総務管理事業、文化財施設管理運営事業、スポーツ振興総務管理事業、スポーツ少年団活動事業

◎3年度特別会計予算等

「後期高齢者医療事業特別会計」低所得者への軽減特

職。

例の見直しなどによる本市での影響

「介護保険特別会計」地域支援事業

「水道事業会計」業務予定

量、老朽管更新事業、新酒田市水道事業基本計画、庄内圏域広域化

人事案件に同意

3月11日に提案された酒田市教育委員会教育長の任命について、議会は全会一致で同意しました。

任期は令和3年4月1日から令和7年3月31日までです。

教育委員会教育長

山形県立酒田商業高校教頭、県生涯学習振興室長などを歴任し、平成28年度から同酒田光陵高校校長を務め、令和3年3月末定年退職。

鈴木 和仁氏

山形県立酒田商業高校教頭、県生涯学習振興室長などを歴任し、平成28年度から同酒田光陵高校校長を務め、令和3年3月末定年退職。

山形県立酒田商業高校教頭、県生涯学習振興室長などを歴任し、平成28年度から同酒田光陵高校校長を務め、令和3年3月末定年退職。

山形県立酒田商業高校教頭、県生涯学習振興室長などを歴任し、平成28年度から同酒田光陵高校校長を務め、令和3年3月末定年退職。

山形県立酒田商業高校教頭、県生涯学習振興室長などを歴任し、平成28年度から同酒田光陵高校校長を務め、令和3年3月末定年退職。

山形県立酒田商業高校教頭、県生涯学習振興室長などを歴任し、平成28年度から同酒田光陵高校校長を務め、令和3年3月末定年退職。

山形県立酒田商業高校教頭、県生涯学習振興室長などを歴任し、平成28年度から同酒田光陵高校校長を務め、令和3年3月末定年退職。

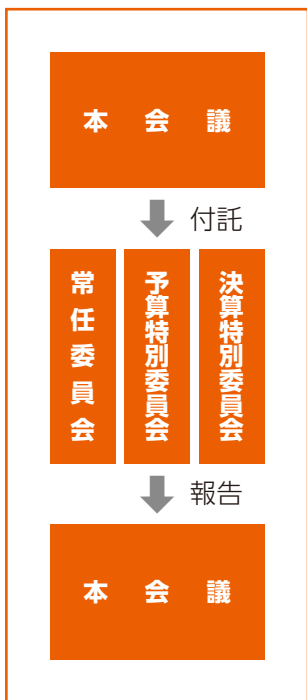
山形県立酒田商業高校教頭、県生涯学習振興室長などを歴任し、平成28年度から同酒田光陵高校校長を務め、令和3年3月末定年退職。

山形県立酒田商業高校教頭、県生涯学習振興室長などを歴任し、平成28年度から同酒田光陵高校校長を務め、令和3年3月末定年退職。

山形県立酒田商業高校教頭、県生涯学習振興室長などを歴任し、平成28年度から同酒田光陵高校校長を務め、令和3年3月末定年退職。

# 市議会の審議はどう進められるの？

市議会には、毎年3月、6月、9月、12月に開かれる「定例会」と、必要に応じて開かれる「臨時会」があります。



本会議は、議員全員と市長など執行機関の長などが議場に集まり開かれる会議です。

- ・提案理由説明 提案者である市長が議案の内容を説明します。
- ・代表質疑 議案について、会派等の代表が質疑を行います。
- ・委員会付託 議案を効率的かつ専門的に審査するため、委員会に付託します。（※委員会に付託しない場合、本会議で審議します。）

委員会では、本会議での付託を受けて、本会議の審議に判断材料を提供するための審査を行います。酒田市議会には、**総務、民生、建設経済の3常任委員会**と、予算を審査する**予算特別委員会**、決算を審査する**決算特別委員会**などがあります。本会議と同じように質疑、討論を経て、採決により委員会の意思を決定します。

- ・委員長報告 付託された各委員会の委員長が、審査結果を報告します。
- ・質疑 各委員長の報告に対し、質疑を行います。
- ・討論 採決の前に、必要に応じ議題となっている案件に対し、反対、賛成の意見を表明します。
- ・採決 議長が議員に賛否の意思表示を求め、議会の意思を決定します。

このほかに、本会議には市政全般について報告、説明を求め、または疑問を質する一般質問があります。また、上記のほかに円滑な議会運営を協議する議会運営委員会があり、必要に応じて特定の案件を調査研究する特別委員会が設置される場合もあります。

一  
般

質

問



3月15日から19日に計17人が質問を行いました。  
質問と答弁の要旨は次のとおりです。

### 高齢化社会の公営住宅 の在り方は



市原 栄子  
議員

少子高齢化が進む中、本市の住環境施策の方向性を示すべきである。市営アパートの単身者住宅は少なく、多くがバリアフリーという概念からは程遠く、高齢者が安心して1人で暮らしていくには無理がある。公営住宅は住まいのセーフティネットとして福祉的な意味合いもある。バリアフリー化を進めて単身高齢者向け

へ変更し、入居を進めていくべきと考える。また、連帯保証人については本市在住の2人ではなくもっと柔軟にし、滞納などの金銭的な問題については保証人協会のような制度を使うようにし、万が一の時に連絡が取れる身元保証人を別に登録するような制度に変更が出来ないか所見を伺う。

**建設部長** 単身用住宅の需要が見込まれると判断した場合、面積要件の見直しや室内における実施可能なバリアフリー対策も含め、検討していきたい。本市では、市内に居住している2名の連帯保証人を求めているが、これは県営住宅と同様の取り扱いで、令和3年度からは60歳以上の方など、やむを得ない場合、連帯保証人が1名でも可とする取り扱いにしていきたい。市営住宅入居者の家賃収納を確実にするため連帯保証人

### 新型コロナウイルス・ ワクチン接種



阿部 秀徳  
議員

安心して経済活動を再開するための待望のワクチン接種が、医療従事者4万人から始まり、高齢者(65歳以上)36万人分も4月中旬から始まる。県内への見通しは2万8千人弱分、全体の7・8%で、それ以降の予定は未定と報道されているが、ワクチン接種の具体的な体制と準備、またワクチンの安全性について本市

の認識を伺う。ワクチン接種において個人差はあると思うが副反応が心配されている。どのような想定で、どのような準備をしているのか。ワクチン接種が最終的に行き渡るめどはわからないし、希望しない人も出てくると思われる。接種の有無による風評差別なども懸念されるが、どの様な対応を考えているのか所見を

伺う。

### 子ども・家庭支援調整監

本市では、万が一クラスターが発生した場合に地域医療体制への影響が大きい高齢者施設の入所者を優先して接種する方向で調整している。引き続き、国の動向などを注視し、接種体制を整え、速やかにお知らせしたい。ワクチンは国による薬事審査の上、承認され安全性があると考えている。ごくまれに重いアレルギーなどの重症の副反応が起きることがあるとされるが、



新型コロナウイルスワクチンの接種  
(日本海総合病院)

予診を担当する医師から副反応発生時の救急措置など、医学的判断を行う責任者を定め、適切な対応ができる体制を構築する。接種をされない方が誹謗中傷など受けないよう、その時点で最も有効な方法で分かりやすく呼びかけていく。  
他の質問項目／港の物流機能強化と洋上風力発電、公共交通

## スポーツ推進計画のウィズコロナを見据えた方向性



齋藤 美昭  
議員

新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツ界では大きな打撃を受けていることから、一日も早い収束を願っているが、今後数年間は以前のような形で大会や練習などは出来ないと考えられる。特に、屋内施設での大会は、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた新しい生活様式に向けての対策や対応が必要と

いわれている。今年度新型コロナウイルス感染症の影響で中止、延期してきた大会やイベントは、総括するいいタイミングであり、事業再開に向けて開催場所の変更や規模の縮小などを検討していると伺っている。この間のスポーツを取り巻く現状と課題を踏まえ、スポーツ推進計画の方針、方向性について考えを伺う。

## 住民と行政の協働による地域づくり



安藤 浩夫  
議員

コミュニティ振興事業は、やる気のある振興会が自ら手を上げ、地域計画を策定し、地域計画加算が集落支援員かを選択して行う事業である。集落支援員を設置することにより、地域の人材の確保や育成につながる。と考えられるが所見を伺う。また、コミュニティ振興には、地域おこし協力隊の活動が欠かせないと考えられ

る。特に、大沢地区においては、新しい発想の祭り「大」文字音頭、青沢獅子踊りの復活などの事業をインターネットやSNSで配信し大きな成果、効果を生んでいる。地区住民の参加意識も高く、先進的な良い事例である。外部登用の地域おこし協力隊と地区内の集落支援員を今後どのように活用していくか考えを伺う。

## 教育次長

感染症対策と向き合う中で運動不足から身体的および精神的な健康を脅かす健康二次被害も懸念されている。公園などでのランニングでさえマスクの着用などに気を配りながら実施しなければならぬ状況にあり、少しでも体を動かす機会をつくってもら

よう、地区体育振興会やスポーツ推進委員と連携していきたい。令和2年度は湊酒田つや姫ハーフレマソン大会など多くの事業が中止となった。令和3年度は、

関係団体や地域の意見を取り入れ、現状ででき得る感染症対策を講じ、引き続き、地域のにぎわいとコミュニティの維持につながるようなスポーツイベントとして開催していきたい。

**他の質問項目／酒田市体育施設整備方針、酒田市重要事業要望の現状と課題**



八幡地域大沢地区の「大」文字

**市長** 集落支援員には、将来にわたって地域の核、リーダーとなり得る人材となってもらふことを期待している。地域おこし協力隊は、それぞれ配置地区の課題や地域資源に応じた活動、地域住民などとの協働の取り組みにより地域の活性化に大きく寄与していると評価している。集落支援員が内からの視点で地区を見ていくのに対して、地域おこし協力隊は地域の外からの視点を持った方が地区に入り込んでさまざまな活動をする

るといところが少し違っているが、住民にとって当たり前のことが実はとても価値のあることに気づくことができるなど、視点や考え方によって、地区の価値を見いだして活性化につながる。竹の狙いである**他の質問項目／移住・定住者が増えるまち**

## 本市過疎地域自立促進計画の策定



佐藤 伸二  
議員

現行の計画は本年3月までの期間である。八幡地域は、秀峰鳥海山の南麓に位置し、観光に磨きをかけ、地場産業の振興と起業による活性化が必要と考える。平田地域は、里山の恵みが豊かであり、旧町時代からの都会の中学生の農業体験などの交流で本市のファンが生まれていると考える。

考えられるが所見を伺う。**市民部長** 八幡地域では、鳥海高原に大規模な牧場が開設され、従業員の移住や事業関係者などの交流も期待されている。松山地域では、松山歴史公園周辺地区が景観形成重点地域に指定され、今後も景観資源の保全を図り、景観づくりを進めることが重要だと認識している。平田地域では、農村生活を体験した子どもたちが成人し、酒田の農産物を積極的に買い求めたり、何度も受け入れ家庭を訪問する交流が続くなど、酒田のファンづくりに今後も貢献させていきたい。荒れた竹林は地域にとって大きな課題であり、たけのこを農産物として積極的に活用することは、有害鳥獣対策にもつながる。また、孟宗竹を使ったメンマの加工品など、里山での新たな収入や中山間地域の活性化につながるものと考えている。

望でき、城下町としての風情ある歴史公園一帯は散策に絶好の環境である。人口減少などの要因で里山を管理する人が減り有害獣が増えるという悪循環が生じている。竹林整備は有害獣対策となり、竹を活用した加工品開発を生きがいや新たな収入につなげることが中山間地域の活性化になると

が景観形成重点地域に指定され、今後も景観資源の保全を図り、景観づくりを進めることが重要だと認識している。平田地域では、農村生活を体験した子どもたちが成人し、酒田の農産物を積極的に買い求めたり、何度も受け入れ家庭を訪問する交流が続くなど、酒田のファンづくりに今後も貢献させていきたい。荒れた竹林は地域にとって大きな課題であり、たけのこを農産物として積極的に活用することは、有害鳥獣対策にもつながる。また、孟宗竹を使ったメンマの加工品など、里山での新たな収入や中山間地域の活性化につながるものと考えている。



## 浸水常襲地域への さらなる対策



仁 藤 後  
議員

昨年9月4日の豪雨災害における住宅地被害状況について伺う。解決に向け、今後の整備計画はどうなっているか。個人住宅に対する止水板や駐車場のかさ上げなど、住宅浸水対策への補助制度はないのか。12月補正予算で排水ポンプ更新や令和3年度予算においても、豪雨・浸水対策への熱意を感じる。豪雨対策は、

**建設部長** 東栄町・若浜町・栄町・富士見町・新橋・御成町などでは、床上浸水が4件、床下浸水が22件、車庫内への浸水1件の計27件の被害報告があった。実施中の雨水排水設備整備をはじめ令和3年度には国の緊急自然災害防止対策事業を活用し、ポンプ施設の更新、能力の増強などを予定している。さらに市道新橋北新橋1号線の道路改良事業により札谷地排水路の流下能力を向上させ、富士見地区の浸水被害を軽減して

いきたい。市民が希望する対策全てに込めることは難しいが、住宅の入口などを覆う止水シートをモデル的に導入し希望する市民に貸し出し、効果の検証を行いながら支援策として検討していきたい。

## 新型コロナウイルス感染症の収束に向けて



博 松本  
議員

**他の質問項目**／中期財政計画、第2期酒田市教育振興基本計画、駅前駐輪場

コロナ禍においても、人数制限はあるものの、プロスポーツ、大相撲観戦、遊園地などが開園している状況にある。今後予想される収束に伴い、感染に充分配慮しつつも、賑わいを創出するためのサポートが必要と考える。自ら感染症予防対策などの設備投資を行っている飲食店や事業者の店舗前に対応策を掲示し、安心感のため

多額の費用と時間がかかる事業であると理解している。しかし、浸水常襲地域に住む市民は雨が降るたびに不安になり、消防団員は深夜・早朝でも排水に出勤している。被害状況では、富士見町二丁目だけでも床下浸水46棟、車の故障6台、ボイラー故障2台との報告もある。さらなる地域に寄り添った対応を望む。

**他の質問項目**／中期財政計画、第2期酒田市教育振興基本計画、駅前駐輪場

に可視化することも支援の方法であると考え。また、今後の祭りなどのイベントの在り方として「感染対策を取った上で、県のガイドラインに沿った形で、できる限りのことは行う」とのことではあるが、早い時期でのイベント中止・縮小の判断ではなく、内容に応じた期日までの判断や発表を

## 女性活躍社会



覚 富樫  
議員

国の男女共同参画基本計画の第5次計画、2021年から2025年度が昨年末閣議決定された。男女が対等に活躍できる社会づくりに向けた施策などをまとめたもので、若い女性の声を反映させるなどしており、指導的地位を占める女性の割合目標が2020年30%達成だったものを「2020年代の可能な限り早期に

30%程度にする」と変更した。本市は2017年10月1日「日本一女性が働きやすいまち」を目指す宣言をしており、令和3年度の市長施政方針の一つにも日本一女性が働きやすいまちを挙げている。本市女性職員の課長職以上の登用割合と今後の目標値ならびに取り組むことは何か、所見を伺う。

**総務部長** 令和2年度の本市の課長職以上の64人（教育委員会学校教育課の先生、消防職などを除いた人数）女性管理職は10人となっており、その割合は15・6%となっている。女性管理職の目標などについては次世代育成支援対策推進法および女性活躍推進法に関する本市特定事業主行動計画の中で、令和6年度までに18%以上としている。今後

も職員の意欲と能力の把握に努め、職場管理、人事組織管理であるマネジメント



えるばし認定マーク

安心感のため、感染予防対策などの設備投資を行っている飲食店や事業者の店舗前に対応策を掲示し、安心感のため

## コメ需要の落ち込み の影響と今後の展開



池田 博夫  
議員

米の需要は、近年人口減少を受けて減り幅が年8万吨から10万吨に拡大、コロナ禍で一層の悪化が懸念される。実際、昨年6月までの1年間で需要量は約20万吨減少したとのこと。総務省の家庭調査（2人以上世帯）では、主食的食品の中で米は一人負けの構図である。外食用の需要の落ち込みなど、コメ余りの深

刻化に国では強い危機感を示し、転作を支援する制度を活用し、2021年産米は過去最大規模の減産が必要だとしている。また、主食用米の国内販売戦略も激化の中で他県ではすでに在留邦人向けの輸出への施策を行っている。国際的に日本食ブームである今、本市でも輸出の動きを加速する時期にあると考えるが所見

を伺う。

### 農林水産部長

昨年10月に酒田港西ふ頭くん蒸上屋を初めて活用し酒田港から中国に米の試験輸出を行った。

酒田産米ではなく他県産米であったが、酒田産米を輸出するため中国当局が求める基準にのっとるよう検討していく。中国以外では酒田港から一般的な商流ベールで香港やシンガポールに輸出されており、酒田港統計年報によると、2019年度の米の輸出は330トンを5年前と比較し6倍ぐ

う。

### 企画部長

西荒瀬地区の2040未来会議において、旧酒田北高校と旧酒田工業

高校の跡地利用を検討し、

広域的な防災拠点として跡地利用の構想を持っている

と伺っている。この構想について来年度、西荒瀬地区

で策定する地域計画ビジョンに反映させる予定であり

県に要望していききたいと伺

っている。コンベンション

機能を併せ持った体育館の

整備を本市や庄内開発協議

会における重要事業として

らいになっている。中国であれ、ほかのアジア諸国であれ、売り先をどこの国に絞るかが1つのポイントであり現地の日本人に売るか、現地の方に売るかでも違うので酒田地区農産物輸出推進協議会を活用しながら情報収集して検討していく。

東日本大震災から10年、命を守る防災・減災・避災



江口 暢子  
議員

国内観測史上最大の地震、東日本大震災から10年の月日が流れた。命の犠牲の上に立つ教訓は、あつてはならない。誰の命も失わない、命を守る防災・減災・避災を推進していくことは、社会の果たすべき役割だと考える。本市の防災は、これまでもハード・ソフト両面のさまざまな取り組みが実施されてきたが、この度の新しい津波ハ



米輸出のためのコンテナ積み込み

ザードマップについてその改定点と市民への周知の方法について伺う。また、近年増加しているペットについて、その同行避難が課題となっている。環境省からは一定の指針が出されており、本市においても避難所運営に関するガイドライン

といった一定のルールを示す必要があると考えるが、

他の質問項目／デジタル変

革による市民サービス

他の質問項目／シエイフア

ウト訓練、防災教育、中山

間地の防災

他の質問項目／シエイフア

## 旧酒田北高校、旧酒田 工業高校跡地への対応



佐藤 喜紀  
議員

両校跡地については、平成24年度の閉校以来、同年度に同窓会館と柔剣道場が解体されて以降9年ぶりに校舎の一部解体が令和3年度に行われることとなる。地元説明会も開催されており、校舎の継続的な解体や早期の跡地利用、今後の展開に対する期待の声も高まっている。本市や地域だけの施設となると進展は厳

しいものと考えられ、地理的な優位性、交通アクセスの利便性、広大な敷地を有しているなどの利点から、スポーツおよびコンベンション機能を有する公共的ホール整備について、市民、地域住民と連携を図ることや2市3町で組織する庄内開発協議会において引き続き県への要望を行うべきと考えるが、今後の対応を伺

県に要望はしており、このような地元の考え方を載せることで現在要望している事項を発展的に反映させていきたい。地元と一緒に要望活動するために、下地となるような意見、要望を伺いながら引き続き要望していく。

他の質問項目／デジタル変革による市民サービス

他の質問項目／シエイフアウト訓練、防災教育、中山間地の防災

## 地域協調型の洋上風力発電と豊かな海づくり



中 齋 議員

遊佐町では洋上風力発電の住民説明会や漁業協調策の検討を重ねて占有海域の調整を図り、30社共同の現地調査など事業化への手続きが進み、同様に風況に恵まれた酒田市沖の洋上風力検討部会が設置予定である。洋上風力が実現すれば、地域雇用や本市財政、さらには基地港湾指定による港湾整備と港湾振興など地域経

済の好循環が期待される。工事期間も含めて約30年海岸線に近い水深20〜40mの海域を占有するので、沿岸漁業振興策・協調策は当然だが、海岸線浸食問題やクロマツ砂防林の保全など海岸環境への地域協調策を提案して丁寧な説明を重ね、漁業者と市民の理解を深めて機運醸成を図るべきと考えるが、所見を伺う。

## 本市でも新たなエネルギー政策を



泉 後藤 議員

再生可能エネルギーを取り巻く政策では、大規模洋上風力発電計画が注目されており、先行している遊佐町沖だけでなく、県の次期エネルギー政策では酒田市沖へも計画区域を広げる方針が示された。本市としての認識、所見を伺う。昨年鶴岡市の出羽丘陵に計画された大規模風力発電事業は撤回され、鶴岡市はすぐに

風力発電建設ガイドラインを改定した。本市の再生可能エネルギービジョン、風力発電施設建設ガイドラインは近隣市町との整合性を比較しても古く、活かせるのか疑問である。本市としての新しいポリシーが示されていないのは非常に残念である。未来を見据えたエネルギーの基本的な計画やビジョンを示すべきと考

## 市長

本市の十里塚における風力発電事業では環境負荷低減を図るため、約4年半をかけた環境影響評価を実施した。供用開始後も周辺環境を2年間調査する予定である。これまでの経験から地域の合意形成を図るためには景観や環境への懸念事項について、民間事業者が丁寧に環境影響評価を実施し、環境負荷の低減に努めることが重要であり、洋上風力も同様な考え方を表明すべきと考える。酒田市沖の景観や環境は、今後、

えるが、所見を伺う。

**市長** 酒田市沖への洋上風力発電事業の導入および基地港湾の指定は、地域における新しい産業基盤の創出、地域経済の活性化につながると考える。県と連携し、市民に対して地域の機運醸成を図り、早期に基地港湾の整備に着手するよう国に對して地道に要望していく。市独自の計画を持つ必要性は感じるが、考慮しなければならぬ社会情勢・地域情勢の変化は想定外に大きなものが出てきている現状で

設置される酒田沿岸域検討部会において課題の抽出や対応策の議論が行われることになり、景観や環境に配慮し漁業者などの海域利用者をはじめとする地域関係者の合意形成を図ることが重要だと考える。

## 他の質問項目

酒田共同火力発電所の存続問題への対応策



令和3年4月に運転開始した市営十里塚風力発電所

少し時間が必要と考える。国のエネルギー基本計画改定の動向、県のエネルギー戦略や後期エネルギー政策推進プログラムを踏まえ、市独自のエネルギービジョン個別計画、計画推進プログラムなどが必要であれば考えたい。

**他の質問項目**／本市への移住者増への課題は

## 安全・安心なまちづくりの現状は



直 齋藤 議員

近年、日本各地で災害が起きており、そのたびに地域の消防団が出勤して昼夜問わず地域住民の命と財産を守り続けている。本市の消防団員数は少子高齢化・人口減少などの影響で減少傾向であり、今後地域を守る消防団の存続が不安である。そのため、なり手を増やす環境づくりが今から必要と思うが所見を伺う。本市の防災行政無線は、市民の生命・安全を守るため緊急情報をいち早く伝える伝達手段である。緊急災害時には正確な情報が必要であり、情報が錯綜すると命の危険に遭う場合もある。しかしながら、防災行政無線が聞こえない、音が響いて何を話しているのかわからないとの改善の声を聞くが現状と課題を伺う。

**危機管理監** 団員の確保は、各コミセンへのポスター掲示や市ホームページでの掲載、消防フェスティバルなどの募集広報などを行っている。地域で現役消防団員による声かけ、消防団協力事業所の拡大を進め、団員の確保に努めていきたい。防災行政無線の屋外スピーカーは原則として屋外にいる方を対象としており、屋内では聞き取れないケースも確かにある。屋外でも場所や天候が悪い日も同様となる。この課題に対応するため、緊急情報を自動受信できるプッシュ型情報伝達の多重化を進める必要がある。緊急速報メールなどに加え、災害発生時に自動起動し、知らせる機能を持つ防災ラジオが有効と考え、頒布の拡大を図っている。

**他の質問項目**／危険ブロック塀の現状と撤去、本市の選挙制度、期日前投票所の増設の考えは

## 女性が働きやすい まちの実現を



武田 恵子  
議員

3月8日は国際女性デーだった。本市の取り組みは女性管理職が増えるなど一歩一歩着実に前進していると思う。しかし、市の審議会などの女性参画率はどうか。「若い女性の流出を止めることができれば、地方都市の持続は危機的状況に陥る」という趣旨の記事を目にした。「若い女性が地方都市でキャリアアップ

のできる仕事が少ないから都会に出ていくのだ。都会に出ていった若い女性の意識を聞いて、女性が働き続けキャリアアップできるように地方が変わらなければならぬ。このままでは地方都市は消滅してしまうかもしれない。」という。本市から出ていった若い女性の意見収集が喫緊の課題と思うが、考えを伺う。

## 地域創生部長

本市の附属機関である審議会など委員における女性の登用率は、令和2年3月31日時点で、29・8%となっており、前年度の26・6%に比べ、3・2ポイント向上している。本市から就職、進学で転出した方々の意見収集はできていないが、令和2年内閣官房まち・ひと・しごと創生本部が実施した調査の結果によると、地方圏出身の20代、30代の方が地元に戻らない女性特有の理由として地元の価値観、例えば

女性への偏見や固定観念になじめないという意見が挙げられている。こういった調査結果を踏まえ、本市として「日本一女性が働きやすいまち」の実現に向け、総合的に取り組みを進めている。

他の質問項目／移住・定住者が増えるまち、未来を担う人材が豊富な酒田とは

## 東日本大震災から10年



佐藤 猛  
議員

基盤的防災情報流通ネットワークが開発された。これは、被害が想定される地域や被災した現場のさまざまな情報を迅速に整理し電子地図上に表示するものである。刻々と変化する被害

情報システムはどうか。危機管理監 基盤的防災情報流通ネットワーク、通称SIP4Dというが、このシステムは災害対応に必要な情報をさまざまな情報源から集約し、それぞれの組織が利用できるようにする災害情報の流通基盤を担う仕組みである。国・県に加え、消防・警察・自衛隊など、さまざまな防災関係機関と

## 学校教育デジタル変革 推進計画(仮称)の策定



佐藤 弘  
議員

新しい学習指導要領では学習の基礎となる資質・能力の一つに情報活用能力を位置づけている。学校において、情報教育やデジタル変革を推進するためにはベースとなる計画が必要となる。GIGAスクール構想を推進し、未来の創り手となる子どもたちが、これからの時代に求められる資質・能力の習得が可能とな

る学校教育の実現について、本市として方向性を示すべきである。本市小中学校でICT教育を推進するためにも「ICT環境整備」と「学校における教育の情報化」の二つの視点に絞った、各校任せではない本市独自の学校教育デジタル変革推進計画(仮称)の策定が必要と考える。所見を伺う。

## 教育次長

令和2年度中にGIGAスクール端末、高速大容量ネットワークを整備しており、4月に運用を開始する。運用に当たり、何年か先の計画をつくるのではなく、学校の活用状況を確認し、学校現場の声をよく聴きながら段階的に進めていきたいと考える。GIGAスクール構想が実現し、学校ICT環境は今まさに大きく変化しているさなかと言える。ここ数か月をみてかなり変わっている。ここしばらくは短期間



「おいしいサンロク女子会」でのトークセッション

で学校のICT環境がさらに大きく変化することも予想され、現段階で推進計画を策定してもすぐに変更の必要が出てくるのではないかと感じている。経過を見ながら進めていきたい。他の質問項目／1人1台のタブレット端末を活かす学習ソフトの導入と活用

道路の通行止め箇所、給水拠点などを同じ地図上に表示し、物資支援などの配布に際して最適な巡回ルートを選定したり、災害廃棄物の収集においても、緊急集積所、集積拠点の位置、一時保管場所、通行止め箇所などの情報も表示でき、スムーズな災害廃棄物の移動を可能にする。本市の防災

このシステムはSIP4Dとは連携しておらず、県と県内各市町村や消防・警察とは情報共有ができるが、その他の機関と情報共有は限定的である。他の質問項目／学校など公共施設の耐震化、橋梁の耐震化

# 1

# 月臨時会



1月26日に、一般会計補正予算など、市長提出案件3件を審議しました。議案は各委員会の審査、議論を経て本会議で採決が行われた結果、全て可決・承認されました。

## 総務常任委員会

請負契約の締結（飛島情報通信基盤整備業務）の議案1件を審査しました。審査の結果、原案を妥当

と認め可決すべきものと決定しました。

## 予算特別委員会

専決事項の報告1件と一般会計補正予算の1件の議案2件を審査しまし

た。今回の補正は、除雪経費の増額、新型コロナウイルススワクチン接続の実施体制整備の経費および豚熱ワクチン接種に係る助成経費の計上が主なものでした。審査の結果、いずれも原案を妥当と認め承認・可決すべきものと決定しました。

## 令和3年第1回1月臨時会 審議結果一覧

議案番号	件名	結果
報第1号	専決事項の報告について（令和2年度酒田市一般会計補正予算（第13号））	承認
議第1号	令和2年度酒田市一般会計補正予算（第14号）	可決
議第2号	請負契約の締結について（飛島情報通信基盤整備業務）	可決

## 令和3年第2回3月定例会 審議結果一覧

議案番号	件名	結果
報第2号	専決事項の報告について（令和2年度酒田市一般会計補正予算（第15号））	承認
議第3号	令和2年度酒田市一般会計補正予算（第16号）	可決
議第4号	令和2年度酒田市風力発電事業特別会計補正予算（第2号）	可決
議第5号	令和2年度酒田市定期航路事業特別会計補正予算（第3号）	可決
議第6号	令和2年度酒田市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	可決
議第7号	令和2年度酒田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第3号）	可決
議第8号	令和2年度酒田市介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決

議案番号	件名	結果
議第9号	令和2年度酒田市駐車場事業特別会計補正予算(第2号)	可決
議第10号	酒田市基金条例の一部改正について	可決
議第11号	酒田市福祉型児童発達支援センター設置管理条例の一部改正について	可決
議第12号	酒田地区広域行政組合の規約変更について	可決
議第13号	新市建設計画の変更について	可決
議第14号	物品の取得について(教師用指導書(小学校及び中学校))	可決
議第15号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	可決
議第16号	権利の放棄について	可決
議第17号	令和3年度酒田市一般会計予算	可決
議第18号	令和3年度酒田市定期航路事業特別会計予算	可決
議第19号	令和3年度酒田市国民健康保険特別会計予算	可決
議第20号	令和3年度酒田市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決
議第21号	令和3年度酒田市介護保険特別会計予算	可決
議第22号	令和3年度酒田市風力発電事業特別会計予算	可決
議第23号	令和3年度酒田市駐車場事業特別会計予算	可決
議第24号	令和3年度酒田市水道事業会計予算	可決
議第25号	令和3年度酒田市下水道事業会計予算	可決
議第26号	酒田市公文書等の管理に関する条例の制定について	可決
議第27号	酒田市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正について	可決
議第28号	酒田市基金条例の一部改正について	可決
議第29号	酒田市特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正について	可決
議第30号	酒田市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	可決
議第31号	酒田市教育研修センター設置条例の制定について	可決
議第32号	酒田市診療所設置管理条例の一部改正について	可決
議第33号	酒田市介護保険条例の一部改正について	可決
議第34号	酒田市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部改正について	可決
議第35号	酒田市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法の基準等に関する条例の一部改正について	可決
議第36号	酒田市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
議第37号	酒田市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準等に関する条例の一部改正について	可決
議第38号	酒田市企業立地促進条例の一部改正について	可決
議第39号	酒田市手数料条例の一部改正について	可決
議第40号	酒田市農林研修施設設置管理条例の一部改正について	可決

議案番号	件名	結果
議第41号	酒田市教育委員会教育長の任命について	同意
議第42号	令和2年度酒田市一般会計補正予算(第17号)	可決
議第43号	令和3年度酒田市一般会計補正予算(第1号)	可決
議第44号	令和3年度酒田市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決
議第45号	酒田市国民健康保険税条例の一部改正について	可決
諮第1号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意
諮第2号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意
諮第3号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意
諮第4号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意
議会第2号	酒田市議会会議規則の一部改正について ※多様な人材の議会活動における制約要因の解消のため、これまで「事故のため」としていた本会議や委員会への欠席事由を「公務、疾病、育児、看護、介護、配偶者の出産補助その他やむを得ない事由のため」と明示するなど改正を行ったもの。	可決

### 3月定例会で審議された請願・意見書

	受理番号	件名	請願者	結果
請願	請願第1号	国に対し「消費税5%以下への引き下げを求める意見書」の提出を求める請願	酒田民主商工会 代表 渡部 実	不採択
	請願第2号	「安全・安心で、ゆきとどいた教育実現につながる30人学級実現」を求める意見書提出についての請願	少人数学級をすすめる県民の会 世話人代表 高木 紘一、伊沢 良治、 佐藤 匡子	不採択
	請願第3号	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書の提出についての請願	山形県医療労働組合連合会 執行委員長 渡辺 勇仁 山形県・酒田市病院機構労働組合 執行委員長 鶴巻 学 本間病院労働組合 執行委員長 本間 総 酒田健康生協労働組合 執行委員長 結城 淳	採択

	議案番号	件名	宛先	結果
意見書	議会第1号	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書について	内閣総理大臣、厚生労働大臣、総務大臣、 財務大臣	可決

医療給付費分	【旧】		【新】
所得割	6.8%	- 0.8%	6.0%
均等割 (1人あたり)	23,900円	- 4,200円	19,700円
平等割 (1世帯あたり)	16,800円	- 1,800円	15,000円

今回の国民健康保険税条例の改正では、貯金にあたる基金残高や国民健康保険特別会計の今後の収支見通しを踏まえ、コロナ禍における被保険者の負担軽減を図るため、国民健康保険税の引き下げが行われました。

**国民健康保険税の引き下げ**

# スポット

皆さんの傍聴を  
お待ちしております

3月定例会中の傍聴者数は、個人の方が17人でした。

議場で開催される本会議および予算特別委員会は、原則どなたでも傍聴することができますが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴者やご家族に発熱などの症状が見られるときは傍聴できません。また、マスクの着用や手指の消毒にご協力を願います。

傍聴の際には、市役所3階の議場前にある傍聴受付カードに住所・氏名を記入の上、受付箱に入れ、入場ください。間隔を



スポットでは、酒田市議会からの  
お知らせを掲載しています。

取って着席していただきますので、団体で傍聴を希望する場合は事前に事務局へお問い合わせください。

なお、本会議の様子は、市ホームページと市役所本庁舎、総合支所1階ロビーのテレビでも放映しています。

また、そのほかの委員会についても、原則どなたでも傍聴することができます。受付は、委員会の開会予定時刻の30分前から行い、議会事務局で傍聴受付簿に住所・氏名を記入していただきます。傍聴席の定員は、各委員会5人で、受付順ですが、開会予定時刻の10分前に傍聴希望者が定員を超えた場合は、希望者間の協議や抽選の方法により傍聴人を決めることとなりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

## 市ホームページを ご覧ください

市議会のあらましや議員紹介、議会日程、一般質問の内容、議会報告会の日程などを掲載しています。会議が開催されているときは、

市ホームページは  
こちらから↓



ライブ映像をご覧になることができます。また、本会議の記録を検索・閲覧することもできます。

### ●アクセス方法

①市ホームページ、「目的から探す」の中の「議会」をクリック

②見たい項目をクリック

## 次回の定例会は 6月定例会です

6月定例会は、6月11日から6月24日までの14日間の日程で開催される予定です。主な日程（予定）は、次のとおりです。

代表質疑……………6月15日  
常任委員会……………6月16日  
一般質問……………6月22日～24日

※詳しい日程は、6月7日に開催予定の議会運営委員会で決まりますので、議会事務局へ問い合わせるか、市ホームページをご覧ください。

## 6月定例会 請願締切

6月4日(予定)

### 表紙写真説明

日向川畔に咲く  
—ヤエザクラと鳥海山—



これらの作品はまさに氏の心の象形なかもしれません。

## 編集後記

強風や短時間での降雪量が観測史上最大を記録し、多くの被害が発生した厳しい冬であったにも関わらず、桜の開花宣言は平年より14日早いものとなり、多くの草花が毎年変わり無く春を知らせ、人々の心を和ませてくれております。また季節に合わせて、農作業が進んでゆきます。一方コロナ禍による影響が続いており、対応に追われる現状にあります。苦境下であろうと、成すべき事を成す自然の摂理に学ぶべきと感じます。先人が乗り越えた様に感染症を克服し、以前の暮らしに戻る日を迎えるため、情報に一喜一憂せずに、今は出来る事を楽しみを見つけ、控えるべき事も考えながら行動する時期であると思います。

(議会報編集委員会)

委員 松本 国博)

## さかた 市議会だより

発行／酒田市議会  
議長 小松原 俊  
酒田市本町二丁目2番45号  
電話 (26) 5770  
FAX (26) 5790  
E-mail : gikai@city.sakata.lg.jp

※市議会だよりに対するご質問などがありましたら、気軽にお寄せください。

文字は、ユニバーサルデザインの  
の書体を使用しています。

発行部数 編集  
四二二〇〇 酒田市議会報編集委員会